

「募集力」

(1) 入試制度

- ・AO 入試、公募推薦入試（前期）、留学生入試、一般入試 S、C 方式において見直しを実施

(2) 学生募集

- ・スポーツクラブ活性化
- ・女子比率の向上
- ・高校&予備校訪問の個別対応化
- ・高大連携化の促進
- ・オープンキャンパス来場者数の増加
- ・本学の強みである「キャリア開発面」「育成面」を受験生・社会に訴求
- ・大学案内パンフレット・ミニ冊子の内容の充実
- ・商業系・資格取得系コンテンツの情報発信強化
- ・学部学科改組広報の強化

(3) 一般広報活動

- ・大学の情報を一元的に集約・管理できる仕組み作り
- ・WEB サイトにて、定期的なアクセスログをとり、分析結果をもとに常に進（変）化するサイト作り
- ・大学ブランディング構築に向けた取り組み
- ・学内・海外向け広報の徹底

「教育力」

(1) 学部改組の円滑なスタートに向けた取り組み

- ・届出書類の対応（2010 年 4 月末）とアフターケア（2011 年度以降 4 年間毎年実施）の準備
- ・学部別（コース別）カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの策定

(2) 新カリキュラム導入に向けた取り組み

- ・「学生のマネジメント能力の養成」への対応
- ・参画型授業の具体化
- ・厳格な成績評価への対応

(3) 学生成長のための個別施策

- ・導入教育の実施
- ・税理士・国税専門官などの国家資格取得を目指す「TERAKOYA1」、基本情報技術者などの情報系資格取得を目指す「TERAKOYA2」の資格取得者の向上と、公務員養成を目指す「TERAKOYA3」の充実
- ・学園都市ゼミ対抗イベントの継続と参加ゼミ数の向上ならびにプレゼン能力の向上
- ・学生ポートフォリオ構築に向けた取り組み
- ・高等教育研究センター（学習支援センター）の活性化
- ・教養センターによるモデル授業の創設

(4) 課外活動の推進による大学の活性化

- ・クラブ支援（公認クラブ加入率 36.5%（前年度 35.3%）、クラブ・サークル加入率 63%（前年度 62.2%））
- ・強化クラブ（硬式野球部・女子ソフトボール部）への支援
- ・育成クラブの選定と支援

(5) ルール・マナー遵守

- ・クラブ顧問・副顧問制度の改善による指導強化
- ・40 の体験プログラムへの参加促進
- ・ルール・マナー指導の新規対策

- (6) 退学・除籍対策
 - ・奨学金制度の充実
 - ・下宿生（新入生対象）へのケア
- (7) 地域交流・ボランティア促進
 - ・地域イベント参加件数目標 20 件（前年度 15 件）
 - ・ボランティア参加者数目標 200 名（前年度 186 名）
- (8) 心と体の健康
 - ・メンタルヘルス（教職員への定期的勉強会の実施）
 - ・ハラスメントの防止対策
- (9) 有朋会（流通科学大学同窓会）との協働
 - ・クラブ活動やゼミごとの同窓会の設立推進
- (10) 学生の交流活動
 - ・留学生と一般学生との交流プログラムの実施
 - ・留学生の募集、受け入れ、相談、出口（就職・進路）の一連の流れをトータル的にケアできる体制づくり
 - ・提携校との学生交流の活発化
 - ・本学学生の海外への留学者数の増加
- (11) 図書館の活性化
 - ・図書館来館者数の向上（本学学生の利用度アップ）
 - ・既存の学生参加型プログラムの伸長と改善を図り、学生の満足度向上とのびしろアップに貢献
- (12) 中内功記念館の活性化
 - ・記念館のリニューアル
 - ・見学者増への取り組み（見学者数目標 1300 人（前年度 1235 人））
- (13) 教育後援会の活性化
 - ・教育後援会主催のイベントの企画・開催
 - ・教育後援会からの情報発信強化

「研究力」

- (1) 流通科学研究所の活性化
 - ・観光ビジネスモデル研究会の立上げ
 - ・セミナー・シンポジウムの開催
 - ・流通研究会の定期開催
 - ・出版企画・編集、広報活動
- (2) 研究支援
 - ・研究費の管理運営体制の構築
 - ・情報収集と情報提供の強化による外部資金（科学研究費補助金＋受託研究費）獲得額の向上
- (3) 海外との学術交流活動
 - ・SARD 第 8 回ワークショップの展開(Society of Asian Retailing and Distribution アジア流通研究会)
 - ・外国人若手研究者の招聘及び大学院生の短期受け入れ
 - ・学術交流による研究成果を本学教学面にフィードバック
 - ・提携大学との学術交流の実施（提携大学数 17～20 大学程度に拡大）

台湾	高雄第一科技大学、南台科技大学、中国科技大学
韓国	東亜大学校、中央大学校、東明大学校
中国	南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学
ベトナム	貿易大学
タイ	カセサート大学
オーストラリア	サンシャインコースト大学
アメリカ	ポートランド州立大学
フィンランド	バーサ大学

(前年度末提携大学 15 大学)

2010年度は2~3大学、合計17~18大学と2011年3月までに、提携するための準備を順次進める。
新規提携目標数2~3大学 アジア等の大学(前年度1大学)

- ・8月に第3回『海外市場研究』を台湾にて実施(日台のマーケティングの相違点調査)
- ・インターネットを使った海外の修士学生との教育の実施検証と継続
- ・提携大学と本学との具体的な交流案の作成

(4) 海外とのビジネス交流活動

- ・海外研修団を受け入れるメニューの提示及び誘致活動の強化
- ・グローバルなビジネス業界との産学連携化

(5) FDへの継続した取り組み

- ・学生による授業改善アンケートの継続実施及び改善
- ・オープンクラスウィーク制度の継続実施及びその評価

(6) 流通資料館の深化

- ・資料収集・管理保管
- ・所蔵資料のデータベース化

「就職力」

(1) 4年生対象 就職支援

- ・就職率目標 80%
(注) 就職率・・・「(卒業者数 大学院進学者数)に対する就職決定者数」であり、就職希望者に対する就職決定者数ではない。
- 1. 学生の情報管理の把握率向上
- 2. 模擬面接の実施
- 3. メールシステムを導入し、エントリー企業の紹介を実施
- 4. 企業への推薦制度の拡大
- ・夏以降のフォロー強化
- ・教職員一体となった就職支援システムの構築

(2) 3年生対象 就職支援

- ・就職ガイダンスの充実
- ・SPI 対策模試の強化とフォロー体制の構築
- ・就職面談の拡大と強化

(3) キャリア教育の見直し

- ・インターンシップの拡大
- ・キャリア開発実践論の見直し
- ・業界研究の充実

(4) その他

- ・キャリア支援に特化したシステムの導入
- ・学内外の広報活動の強化
- ・留学生・大学院生の就職支援
- ・第二新卒の就職支援
- ・有朋会（流通科学大学同窓会）との連携

「経営力」

(1) 財務構造の磐石化

- ・健全性の維持
 1. 3大経費のコントロールによる予算統制
 2. 収支均衡に向けた施策実施（基本金組入れ等）
- ・監査機能の充実
 1. 監事、監査法人との連携による会計・業務監査の実施
- ・堅実な資金運用の実施
- ・正確な補助金管理業務の遂行
- ・RYUKA 未来基金の募集

(2) 学園組織

- ・学部改組に向けた教員配置の実施
- ・本学の個性を強く発信していくことをねらいとした事務局組織への変更
- ・「学生の成長」に視点を置いたセンターの再編成
- ・職員の時間外手当の削減

(3) 個別施策

- ・RYUKA プラン 21 に則った事業の推進
 1. RYUKA プラン 21 の全教職員への徹底
 2. 各項目における検証、及び対策の実施（PDCA サイクルをまわす）